

つなげよう!
まおう!
あおりのかわとみち



青森河川国道ニュース



お問合せ先：国土交通省 青森河川国道事務所 〒030-0822 青森市中央三丁目20-38
地域づくり相談室 TEL017-734-4529 FAX017-722-2577
平成21年12月22日（火） 第112号

[ご意見は
こちらまで](#)

十三湖と岩木川の自然環境を考える 平成21年度 河川生態学術研究会岩木川グループ発表会

近年、河川が本来持っている自然環境の役割を見直し、河川管理のあり方を再検討しようとする気運が高まってきております。

そこで河川管理者(国土交通省)は、これまで不足している生態学の知見を補うことと、幅広い研究成果を取り入れる事により、自然環境にも配慮した多様性のある河川管理の実現へ向けた河川行政を展開する事としました。

全国的には平成7年度から多摩川と千曲川で研究が始まったのを皮切りに、全国6河川目東北地方初として平成18年度に学識経験者を中心とした「河川生態学術研究会岩木川研究グループ」が発足し、調査研究(H18~H22の5年間の予定)が開始されました。

岩木川での主な研究内容は、

- ・十三湖の汽水環境、物質循環、食物網の調査研究。
- ・広大なヨシ原の形成・維持・再生の生態的機能の調査研究。
- ・流域の地形・地質、河川流域環境の歴史的変化の調査研究。 となっています。

平成21年度に行った研究の成果について、下記により発表会を実施することになりましたのでお知らせします。

日時：平成22年1月15日(金) 13:30~18:00

場所：弘前商工会議所 2階大ホール

弘前市上鞆師町18-1 0172-33-4111

入場無料

【発表会プログラム】

■平成21年度岩木川研究グループ研究概要報告

■セッション1:十三湖の汽水環境、物質循環と食物網の把握

「河川流量の変動がヤマトシジミの成長に及ぼす影響」ほか4題

■セッション2:ヨシ原の形成・維持機構、生態的機能の把握

「岩木川河川敷におけるヨシ原の人為攪乱によるヨシ群落への影響」ほか2題

■セッション3:流域の地形・地質、河川構造、河川流域環境の歴史的変化の把握

「十三湖における約6000年前以降の環境変化」ほか1題

なお、生態学術研究会及び発表会についての詳細は当事務所ホームページのイベント・トピックスでご覧いただけます。

青森河川国道事務所HP <http://www.thr.mlit.go.jp/aomori/>